

●音楽科における昨年度の授業改善推進プランの検証

感染予防ガイドラインに沿った授業展開により従来の実技指導のスタイルの変更を余儀なくされ、生徒の達成感や到達目標も戸惑いが感じられる状況がある。感染予防という点では和楽器の授業も同様で、昨年度は外部講師による実技授業が中止となり、映像のみの授業となってしまった。

今年度は2学年同時 器楽においては3年間を通じて系統的に実践していく必要がある。演奏技能だけでなく、合唱活動にも関わる和声感を育む2声アンサンブルまで計画的に行っていく。

鑑賞は鑑賞教材も不足しており、機材も不十分である実態を改善して行く必要がある。教室の大きさと音響設備のアンバランスを解消して、生徒の感性に響く音響的な環境を整えていく。

●音楽科における分析と課題

生徒の歌唱活動に対する気持ちは基本的には前向きであるが、昨年度に引き続き新型ウィルスへの感染予防ガイドラインに沿った実技指導を継続し、鑑賞と実技練習を50分の授業でどうバランスを図り、実技教科としての生徒の達成感をどのように持たせるかが課題である。合唱コンクールも課題曲1曲のみの発表となり、その点では楽曲に対する知識と理解、ならびに音楽的な背景と歌詞と表現の結びつきなど、教材として従来よりも共通に時間をかけて指導できるという利点がある。そして今後もマスクを着用した上での歌唱指導は、発声ならびに表現の面で評価しづらく、発表の際にもどのような形状のマスクが少しでも活動の負担を軽くするかある程度推奨していくことも検討している。

●音楽科における授業改善の具体的な取り組み

第1学年

- ・ 授業規律の確立…忘れ物・遅刻・私語への注意・指導、迅速な準備への指導・助言、挨拶の指導、学習に対する発言力の指導
- ・ 正しい歌唱法……姿勢・発声の注意、口の開け方の指導
- ・ 高い表現力……音楽のフレーズや歌詞の内容を理解した表現の工夫への指導、大勢の前で表現する(パフォーマンス)、歌う楽しさを学ぶ
- ・ 楽典の理解……楽譜の見方、階名、強弱・速度・演奏上の記号の指導
- ・ 楽器の正しい取り扱いについて。マナーについて。正しい運指。

第2学年

- ・ リーダー養成……自主的なパート練習の確立への助言・指導
- ・ 集団力を高める…パート練習の個別評価、集団の中での「個」としてのパフォーマンス力を高める
- ・ 楽典の理解……階名、強弱・速度・演奏上の記号の指導
- ・ 楽器の正しい取り扱いについて。マナーについて。正しい運指。
- ・ 豊かな音色で曲想を感じながら器楽演奏を行う。

第3学年

- ・ 授業規律の強化…自主的に授業規律できる生徒の指導
- ・ 個人能力の強化…パート練習の個別評価・助言・指導、
- ・ リーダー養成……自主的なパート練習の確立、および全体指導への助言・指導
- ・ 楽典の理解……プリント学習による階名、強弱・速度・演奏上の記号の理解、表現の工夫への助言・指導